

「第3回 道德のまち笠松のつどい」開催

— 道德心を具体的な行動で —

教育文化課



志と理念の経営アドバイザー 角田識之氏

道德心は大切だと考えながらも、それで厳しい現代を生き抜けるかという思いを多くの人が抱きます。江戸時代の二宮尊徳の考えを紹介する言葉に「道德なき経済は犯罪であり、経済なき道德は寝言である」があります。私たちは寝言にしない道德を求めたいと考えています。

今回の「道德のまち笠松のつどい」では、町内の小中学校で「志」をもつことの大切さを子どもたちに話されている経営コンサルタント会社の社長 角田識之^{すみだのりゆき}氏をお招きし、講演いただきます。

混迷する日本の現状を広い視野から分析し、これからの我々のあり方についてお話しいたします。心を大切にする道德のまちづくりについて、皆で考えてみましょう。

【講師紹介】1956年 愛媛県松山市生まれ

- ・経営コンサルタント会社社長、松本市観光大使
- ・「志」授業の提唱と実践
- ・著書：「生涯顧客が生まれる101のマジック」など多数

【日時】2月5日（土）午後2時～午後4時

【場所】笠松中央公民館 3階 大ホール

【内容】①「道德のまち笠松」の取り組み報告
②講演

トンボ池西の草むら・竹やぶ 不法投棄をやめて！

— まずはごみの撤去 皆の力で —

道德のまち笠松

12月5日、木曾川右岸トンボ池西の川原に、一斉清掃を終えた無動寺・中野町内会のかたがた、地元企業、国土交通省木曾川第一出張所、「道德のまち笠松」の関係者など170人ほどが集まりました。このあたりの草むらや竹やぶに投棄されたごみを撤去するためです。

ここは小鳥のさえずりも聞こえ、木曾川の風情も楽しめる場所です。しかし、いつの頃からかタイヤ、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、家具、ふとんなどが不法に投棄される場所になりました。元のきれいな場所にしたいという地元の願いをもとに、町内会・「道德のまち笠松」・国土交通省がともに取り組むことになったのです。

到着した人から作業にかかりました。大小の

ごみを道まで運び出し、トラックや軽自動車に積みこみ、集積地に集め、分別します。車を持ち込んで運搬いただいた方もありました。予想に反し、1時間半程で、すべてのごみが撤去されました。集められたごみは三ヶ所に山のように積みあげられ、国土交通省にて処理されました。

自分たちの捨てたごみではないが、不法投棄にストップをかけ、美しい環境を維持するために、自らごみを撤去する取り組みをされたみなさんの心に敬意を表したい。投棄されたタイヤの山を取り除いた向こうには、写真のようにきれいな水面が広がっていました。こうしたかたがたの心が、さらに広がることを願っているかのように。



くぼ地の投棄タイヤをトラックに積みこむ



投棄タイヤがなくなっくぼ地付近の水面